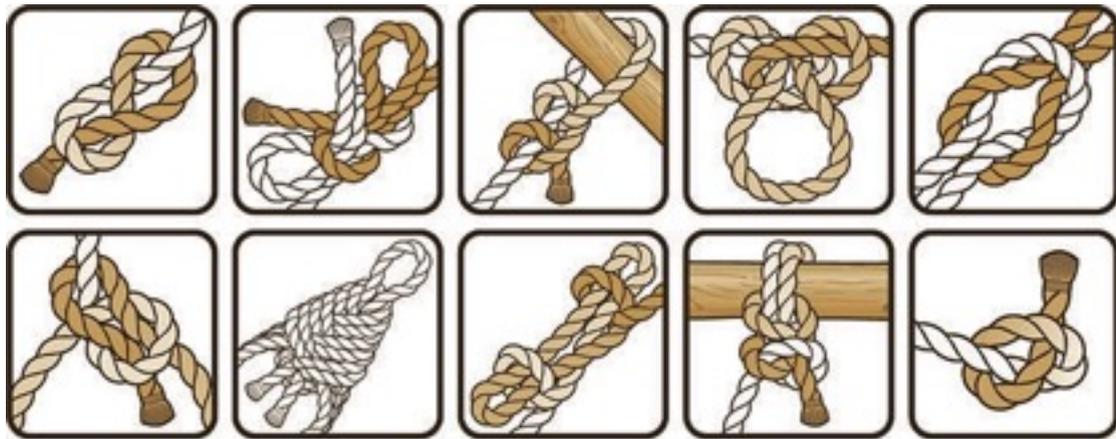


保存版

## ロープワーク 1

いざという時のために  
身につけておきましょう

- 名称 **8の字結び** / Figure of eight knot  
 英名 : 「フィギュア・エイト・ノット」 「ジャーマン・ノット」  
 用途 ロープの端のほつれを防いだり、握り手にするためのコブを作る  
 避難用などの太いロープに続けて結ぶことで、登り降りの手がかりに使える  
 備考 形が「8」の字に似ている



- 名称 **はな結び**  
 別名 : 「蝶結び」 「蝶々結び」  
 英名 : 「ボウ・ノット」 「シューレース・ノット」  
 用途 1本の紐の端と端を結んでものを縛るのに使う靴ひもなど何度も  
 結んだり解いたりするときに向いている  
 備考 両方の端を引きとけ結びにしたもので、美しく、強度も高く、解  
 きやすい



- 名称 **ふた結び** / Two half hitches  
 英名 : 「トゥー・ハーフ・ヒッチズ」  
 用途 ロープの端を杭や丸太に結びつける時に使う  
 備考 結び目は「巻き結び」になる



名称 **バタフライ・ノット** / Butterfly knot  
 別名：「中間者結び」  
 英名：「バタフライ・ノット」  
 用途 ロープの中間に決まった大きさの輪を作る結び登山のパーティが互いの身体をロープで結ぶ際、中間の人が使う結び  
 備考 信頼性の高い結びで、水に濡れても解きやすいため、「結びの女王」と言われることもある



名称 **本結び** / Square knot  
 別名：「こま結び」「真結び」「片結び」  
 英名：形状から「スクエア・ノット」用途から「リーフ・ノット」  
 (帆を縮めたときに結ぶ)  
 用途 同じ太さのロープを結ぶ時の基本の結びで、強く締めると固く締まる太さ、材質の異なるロープを結ぶのには不向き  
 備考 片方のロープにだけ力が加わると形が崩れほどけてしまうので、それを利用してほどく方法がある



名称 **もやい結び** / Bowline knot  
 英名：「ボウライン・ノット」  
 用途 作った輪の大きさが変わらない結び比較的簡単に結べて、強度も高く、しかも解きやすいので「結びの王様」  
 (キング・オブ・ノット) と呼ばれている  
 備考 船を「もやう」(岸の杭に繋いでおくこと) 時に使われるので、この名前が付いている



名称 **ちぢめ結び** / Sheep shank  
 英名：「シープ・シャンク」  
 用途 一時的にロープの長さをロープの途中で短くしたり、ロープの弱ったところを保護する結び  
 備考 輪っかを3つ重ねて結ぶ方法は、簡単にできる



名称 **垣根結び**  
 別名：「男結び」「角結び」「はえがしら」  
 用途 竹などで垣根を作る時に使う結び一度結びと解けにくいので、荷物の結束や荷造りに用いる  
 備考 日本独特の結び



名称 **ひと結び** / Half hitch  
 英名：「ハーフ・ヒッチ」「シングル・ヒッチ」「シンプル・ヒッチ」  
 用途 単純な結びのため強度は弱く、単独で使われることは少なく、他の結びと組み合わせて使うことが多い  
 備考 他の結び(ふた結び、ねじ結びなど)の基礎となっています

